

医学研究センター

共同利用施設運営部門

片桐 岳信
(部門長)

1. 構成員

部門長	片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu)	: 中央研究施設, ゲノム基礎医学: 教授 (任期: R8.3.31)
副部門長	横尾 友隆 (YOKOO, Tomotaka)	: 中央研究施設日高ランチ実験動物部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
部門員	廣澤 成美 (HIROSAWA, Narumi)	: 中央研究施設機能部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	川野 雅章 (KAWANO, Masaaki)	: 中央研究施設機能部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	水野 由美 (MIZUNO, Yumi)	: 中央研究施設実験動物部門: 講師 (任期: R8.3.31)
	水野 洋介 (MIZUNO, Yosuke)	: 中央研究施設形態部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi)	: 中央研究施設 RI 部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	佐藤 哲也 (SATO, Tetsuya)	: 中央研究施設日高ランチ機能部門: 准教授 (任期: R8.3.31)
	森 隆 (MORI, Takashi)	: 総合医療センター研究部: 教授 (任期: R8.3.31)
	椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio)	: 情報技術支援推進センター: 教授 (任期: R8.3.31)
	横田 和浩 (YOKOTA, Kazuhiro)	: リウマチ膠原病科: 准教授 (任期: R8.3.31)
	小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro)	: 医学研究センター: 毛呂山ランチ長 (任期: R8.3.31)
	長谷川幸清 (HASEGAWA, kosei)	: 医学研究センター: 国際医療センターランチ長 (任期: R8.3.31)
	竹下 享典 (TAKESHITA, Kyosuke)	: 医学研究センター: 総合医療センターランチ長 (任期: R8.3.31)
	下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki)	: 医学研究センター: 保健医療学部ランチ長 (任期: R8.3.31)

◇オブザーバー

佐藤 勝茂 (SATO, Katsushige)	: リサーチアドミニストレーションセンター
甲田 和博 (KODA, Kazuhiro)	: 経理部購買課
大関ひとみ (OOZEKI, Hitomi)	: 経理部経理課
麻原 弘行 (ASAHARA, Hiroyuki)	: 施設部施設管理課
川俣 栄希 (KAWAMATA, Eiki)	: 大学事務部医学部事務室学務課

2. 目的・目標

共同利用施設運営部門は、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規程第9条(4)に則り、全学的視点で研究機器材料等の情報を管理し共同利用実験室を管理・運営することにより、本学の研究を推進することを目的とする。

本年度は、主に研究施設に関する情報を共有し全学的視点で研究力の向上に努めるために、医学研究センターの各ランチ長が共同利用施設運営部門の構成員として参画していただくこととした。原則、毎月メール会議を開催して共同利用施設に関する話し合いを行った。併せて、事務的な情報も共有するためにオブザーバーとして関連部署(RAセンター、購買課、経理課、施設管理課、学務課)の職員にも協力いただくこととした。会議では、全学的に募った設置希望機器リストから、補助金等を利用して新規の機器を導入すると共に、既に設置されている機器の整備に努めた。さらに、対面又はオンラインのテクニカルセミナーを開催し、施設を利用する研究者に対して研究機器の利用を啓発した。併せて、共同利用実験室利用内規を改正し、管理・運用体制を見直した。

3. 活動実績

1) 部門会議

(1) 2025 (R7) 年度 第1回 共同利用施設運営部門会議

日時: 2025 (令和7) 年4月17日 (木)~4月24日 (木): メール会議 出席 15人

議事:

- 共同利用施設運営部門構成員の追加変更を確認した。
- 医学研究センター創立20周年記念誌発行のため、原稿執筆と関連資料の提供が依頼された。

(2) 2025 (R7) 年度 第2回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年5月19日 (月)～5月26日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 「2025 年度研究マインド支援グラント (両学部共通部門)」に、共同利用機器や実験室の予約システム開発・保守を申請したことが報告された。
- b. 共同利用実験室利用内規と関連様式の改定案が示された。

(3) 2025 (R7) 年度 第3回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年6月19日 (木)～6月26日 (木)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 「2025 年度研究マインド支援グラント (両学部共通部門)」に、共同利用機器や実験室の予約システム開発・保守を申請したことが報告された。
- b. 学部学生による医学部中央研究施設の機器利用の手続き等が提案され、承認された。

(4) 2025 (R7) 年度 第4回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年7月8日 (火)～7月11日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省 令和7年度私立学校施設整備費補助金等に係る事業募集において、金額、汎用性、期待される導入後の本学の研究活性度を考慮し、本学が申請する研究装置および研究設備の候補機器を選定した。
 - ・研究装置：Orbitrap Exploris 240 LC-MS/MS を中心としたシステム一式 (Thermo Scientific),
¥102,300,000 - (設置場所：基礎医学棟 3F, 中央研究施設機能部門)
 - ・研究設備：ChemiDoc Touch MP イメージングシステム (バイオラッド),
¥6,700,000 - (設置場所：ゲノム棟 4F, 共同利用実験室)

(5) 2025 (R7) 年度 第5回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年7月16日 (水)～7月22日 (火)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 共同利用施設部門が管理する共同利用実験室の利用内規の改正スケジュールが改めて示された。
- b. 研究マインド支援グラント (共通部門) に共同利用施設運営部門から申請していた「機器予約システム」が採択されたことが報告された。

(6) 2025 (R7) 年度 第6回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年9月23日 (火)～9月29日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第3回部門会議で検討した共同利用実験室に関する規程や規則、細則等の改正が常任理事会と理事会でご承認頂き、12月1日から施行予定であることが報告された。

(7) 2025 (R7) 年度 第7回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年10月8日 (水)～10月17日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 内閣府による「産業連携活動マネジメントに関する調査」への回答案集計を各部署に依頼した。従来、中央研究施設機能部門で一部の器機等について取りまとめていたが、共同利用施設部門が全学的な研究機器に関する議論を行う体制となったことから、今回より本部門で対応することとした。

(8) 2025 (R7) 年度 第8回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年10月21日 (火)～10月27日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第4回共同利用施設運営部門会議において選定した令和7年度私立学校施設整備費補助金等 (装置・設備) に申請した研究装置および研究設備の結果が報告された。
 - ・研究装置：Orbitrap Exploris 240LC-MS/MS を中心としたシステム一式：不採択
 - ・研究設備：ChemiDoc Touch MP イメージングシステム：交付決定

(9) 2025 (R7) 年度 第9回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和7) 年11月17日 (月)～11月21日 (金)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第29回 医学部中央研究施設部門会議 議事録抜粋が報告された。

(10) 2025 (R7) 年度 第 10 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 12 月 16 日 (火)～12 月 23 日 (火)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 「動物実験の外部検証 令和 8 年度の実施に向けた事前説明会・個別相談会」に、安全管理部門と共同利用施設運営部門から参加する予定であることが報告された。

(11) 2025 (R7) 年度 第 11 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2025 (令和 7) 年 12 月 25 日 (木)～2026 (令和 8) 年 1 月 8 日 (木) 正午：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省から追加募集された「令和 7 年度私立学校施設整備補助金 (装置・設備)」について、候補装置・設備の推薦を依頼した。

(12) 2025 (R7) 年度 第 12 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 1 月 8 日 (木)～2026 (令和 8) 年 1 月 15 日 (木) 正午：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省から追加募集された「令和 7 年度私立学校施設整備補助金 (装置・設備)」について、第 11 回共同利用施設運営部門会議において推薦された候補装置・設備の集計結果一覧を報告した。その上で、全学的な視点から申請するに相応しいと考える機器を挙げるよう依頼した。

(13) 2025 (R7) 年度 第 13 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 1 月 19 日 (月)～1 月 26 日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省による「令和 7 年度私立学校施設整備補助金 (装置・設備)」の追加募集について、前回会議で作成した申請候補機器リストを法人に申請候補機器の選定を依頼し、以下の教育基盤設備および研究設備が選定されたことを報告した。
 - ・教育基盤設備：BZ-X1000 シリーズ オールインワン蛍光顕微鏡 (キーエンス),
¥28,105,000 (基礎医学棟 地下 2 階 組織培養室, 中央研究施設形態部門)
 - ・研究設備：SeqStudio 8 Flex ジェネティックアナライザ (サーモフィッシャー),
¥25,520,000 (ゲノム棟 6 階 共通機器室, 中央研究施設日高ランチ機能部門)

(14) 2025 (R7) 年度 第 14 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 2 月 18 日 (水)～2 月 24 日 (火)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 文部科学省の私立学校施設整備補助金応募のため、補助金を利用して令和 8 年度・9 年度に設置を希望する機器・設備のリストが必要なことが説明された。医学研究センターの各ランチ長に対し、各部署の研究装置・研究設備の要望取りまとめが要請された。

(15) 2025 (R7) 年度 第 15 回 共同利用施設運営部門会議

日時：2026 (令和 8) 年 3 月 20 日 (金)～3 月 23 日 (月)：メール会議 出席 15 人

議事：

- a. 第 14 回部門会議で調査を依頼した、文部科学省の私立学校施設整備補助金を利用して令和 8・9 年度に設置を希望するリストが示された。本部門会議で確認を行い、その結果を購買課へ報告する。
- b. 医学研究センターの改組に伴い共同利用施設運営部門会議は 4 月から新設の研究統括センターにおける研究基盤部門として活動予定となることが報告された。なお、現在の構成員には 4 月以降も引き続き尽力いただきたい旨が併せて依頼された。

2) 共同利用実験室および中央研究施設利用の啓発と整備

共同利用実験室は、研究課題を遂行する環境を持たない教員に対し最小限の機器を備えた実験場所を提供し、もって当該教員の研究活動のセットアップに資することを目的として、平成 24 (2012) 年 9 月 10 日より運用が開始され、現在、基礎医学棟 3 階ならびにゲノム棟 4 階に整備されている。それぞれに実験ベンチや基本機器およびフェローステーションが併設されている。令和 7 (2025) 年度の利用実績は下記の通りであった。

(1) 共同利用実験室

- a. 毛呂山キャンパス：登録基本学科数 7～10 学科／月、利用登録者数 10～16 人／月
- b. 日高キャンパス：登録基本学科数 16～17 学科／月、利用登録者数 41～43 人／月

(2) 中央研究施設

- a. 機能部門：登録基本学科数 47～49 学科／月，利用登録者数 191～194 人／月
- b. 形態部門：登録基本学科数 46 学科／月，利用登録者数 183～188 人／月
- c. 実験動物部門：登録基本学科数 46～47 学科／月，利用登録者数 199～210 人／月
- d. RI 部門：登録基本学科数 8 学科／月，利用登録者数 15～16 人／月
- e. 日高ランチ機能部門：登録基本学科数 36～38 学科／月，利用登録者数 126～138 人／月
- f. 日高ランチ実験動物部門：登録基本学科数 7 学科／月，利用登録者数 24～27 人／月

3) 中央研究施設共同利用研究機器・設備整備

(1) 令和 7 年度 私立学校施設整備費補助金

- a. Bio-Rad: ChemiDoc Touch MP イメージングシステム【医学部 中央研究施設日高ランチ機能部門】

4) テクニカルセミナーの開催

以下のテクニカルセミナーを開催し，機器の取り扱いおよび新しい研究技術を紹介した。

- (1) 2025/7/15 15:00-16:00:
島津製作所 卓上型 MALDI 装置イメージング MS ご活用セミナー
- (2) 2025/7/22 10:00-/11:00-/13:30-/15:00-/16:30-:
キーエンス蛍光顕微鏡“第 5 世代”BZ-X1000 デモ実演会
- (3) 2025/11/17-21 9:00-17:00:
キーエンスオールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 個別 WEB 実験相談会
- (4) 2025/11/26 13:00-19:00:
キーエンスオールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 個別実機操作説明会
- (5) 2025/11/26 14:00-15:30/18:00-19:30:
Bio-Rad デジタル PCR システム基礎セミナー—Liquid Biopsy セミナー—
- (6) 2026/2/18 13:00-14:00/15:00-16:00/17:00-18:00:
Bio-Rad ChemiDoc Touch MP 操作説明会

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価

令和 7 年度は，前年度の改善計画に従い，構成員の見直しを行い，全学的に共同利用施設の情報を共有するための組織の適性化を行った。また，計画通り共同利用実験室利用内規を細則に改正し運営体制の強化，規定集から閲覧可能な状態にした。令和 7 年度の共同利用実験室の登録者数は，両キャンパス合計で毎月 53～59 名と微増した。医学部中央研究施設の毎月の利用登録者は，毛呂山キャンパス（4 部門）が 591～608 名，日高キャンパス（2 部門）が 151～164 名であった。さらに，令和 7 年度は私学助成金 1 件が採択され，Bio-Rad 社 ChemiDoc Touch MP イメージングシステム（医学部中央研究施設日高ランチ機能部門設置）を導入した。令和 7 年度は，合計 6 回のテクニカルセミナーを開催した。

4-2. 今年度の自己点検・評価に基づく改善計画

現在，本学の機器・設備の老朽化による不具合が発生しているため，関係部署と連携しながら，補助金の申請等を利用して計画的な研究環境の整備を進める必要がある。機器導入の際には，学内外との共用化にも取り組む準備を進める。

また，次年度は共同利用施設運営部門が所属する医学研究センターを含む研究組織が改組され，研究統括センターとして活動することが予定されている。次年度も，全学的な研究基盤を整備し研究支援を行う体制を強化する。その一環として，共通機器を管理する中央研究施設のコアファシリティ化を推進する。